

JAによる地域を元気にする素敵なお話。

## JAふるさとの育む人 #37「米」



育む人 齊藤 龍平さん

農事組合法人「きずな」(十文字地区) 53歳

栽培品目：米38％、そば15％、野菜類(枝豆など)3.5％

### 環境に優しい米作り100%へ

秋田県内で米生産量第2位のJA秋田ふるさととは、今年度、県とJAグループ秋田が作付け拡大を目指す環境保全米「あきたeco(エコ)らいす」の100%作付けに取り組んでいます。管内産全量を同ブランドとして作付けを目指すのは、当JAが初。近年消費者からの需要が高い「手頃な価格」「安全・安心」「環境保全」への取り組みにより、産地全体の評価向上を目指しています。



### 土づくりにこだわった「地力向上」の米づくり

十文字地区の農事組合法人「きずな」(構成員35人)は、地域に先駆けて環境保全型農業に取り組む生産法人。経費削減や環境への負荷の軽減、安全安心など、求められる米づくりに向けた栽培に取り組んでいます。米は「あきたこまち」や「萌えみのり」、「秋田63号」を作付けするほか、そばや枝豆、トマト、スイカなど8品目を栽培しています。中でも、米は38％という大規模で取り組む主力品目。作付けするすべての圃場には化学肥料をほとんど使用せず、完熟たい肥を散布することで、土づくりにこだわった地力を向上させる米作りを行っています。



### 「安全安心」と「おいしさ」。使命を次世代へ

その効果について、代表の齊藤龍平さんは「異常気象に強い米作りには、高い地力が不可欠。たい肥を継続的に散布することで土壌が改良でき、化学肥料を削減した米作りができる」と手ごたえをにじませます。「地域が一丸となって環境保全型農業に取り組む、おいしいお米ができる地力の高い農地を次世代に残したい」と続ける龍平さん。安全安心とおいしさという“使命”を消費者と次の世代に届けるため、今日も、新緑の若芽の中、仲間とともに汗を流しています。

